

「南種子町立花峰小学校のインギー鶏飼育伝承活動の取組」

1 学校名

南種子町立花峰小学校

2 学年・人数

全校児童 8 人

3 日時・場所

(1) 飼育の日時・場所

365日交代制（平日：朝の時間，土・日・祝日：午前10時）

インギー飼育舎

(2) 学習の日時・場所

令和3年5月～7月 総合的な学習の時間（5・6年生）

(3) 発表の日時・場所

令和3年4月23日（金）インギー集会（本校図書室）

令和3年7月19日（月）総合的な学習の時間（本校5・6年生教室）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事，伝統工芸品について

(1) 名称

インギー鶏飼育伝承活動（いんぎいどりしいくでんしょうかつどう）

(2) 由来

インギー鶏は，農林水産省の日本農林規格で在来種として認定されている希少な鶏である。この鶏は，明治27年の南種子町前之浜における英国帆船ドラメルタン号の難破の際に，救助までの間滞在した船員から地域の人たちがお礼にもらった11羽の鶏が起源で，地域の人たちによって大切に守り伝えられてきた。花峰小学校では，インギー鶏を大切に育てていて，インギー鶏とドラメルタン号の物語を語り継ぐための様々な取組を行っている。

(3) 構成等

インギー鶏の名前は当時，島民がイギリス人を「インギー」と呼んでいたことに由来する。尾骨はあるが，尾羽は発育不全の縮れで尾がないように見え，尾羽が垂れているのが特徴の珍しい鶏である。また，コーチン種の系統に属する中国南部の品種と考えられるが，100年以上にわたる改良・淘汰で固有の鶏種として確立され，遺伝学の分野でも貴重である。県指定文化財（天然記念物）に指定されている。

5 保存会や地域との連携の具体

インギー鶏の世話は，毎朝児童が交代で行っており，土・日も当番を決めて，世話をしている。インギー鶏を育てるときに大事なことを聞いたり，気になることがあるときは，南種子町のインギー育種会の会員の方や地域でインギー鶏を育てていらっしゃる方に来ていただいて診てもらったりしている。

また，総合的な学習の時間では，総合農政課や広田遺跡ミュージアムの方にインタビューをしてインギー鶏について深く調べ，発表スライドを作成した。

6 文化財伝承・活用の取組で工夫した点

- (1) インギー鶏飼育当番が責任をもって取り組めるよう、毎日、朝の集会等で確認を行った。
- (2) 総合的な学習の時間にインギー鶏について調べる学習を位置づけ、インギー鶏をより身近に感じるように工夫した。
- (3) NPO法人かごしま新発見伝塾バスツアーの観光客を受け入れ、インギー鶏とのふれあい、ドラメルタン号漂着の様子を伝える等、伝承活動を行った。

7 取組の様子（毎日の飼育，発表の場等）



【花峰小で飼育しているインギー鶏】



【インギー鶏とふれあう児童たち】



【インギー鶏の世話をする児童と卵】



【インギー集会：インギー鶏クイズ】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【6年生児童】

わたしは、今までインギー鶏について全く知らなかったが、インタビューをしたり、自分で調べたりすることでたくさんのがわかった。もっとインギー鶏について調べてみたいと思った。

【教職員】

ドラメルタン号が漂着してから127年、長い歴史をインギー鶏と共に歩んできた今までの花峰小の児童の思いをしっかりと受け継ぎ、これからも大切に育てていきたいと思った。

【地域の方から】

花峰小のインギー飼育舎は、観光バスが停まるコースにもなっていて、地域の大切な場所でもある。これからも、みんなで大切に育ててほしい。